

に高校生へと成長しているのがわかります。それでもまだまだ高校生と言えない部分がおおいのですが、一人一人が無限の可能性を持っている事は確かです。この高校生活で皆それぞれが何に出会い、どのような方向へ成長していくのか、その一助となるべく一学年職員一同、これからも気を引き締めて取り組んで参ります。

二学年概況

一学年主任 岩澤昌人

二学年の概況ということでは一年を振り返ってみると、やはり何と云っても十月の修学旅行が強く印象に残っています。

一年生の入学当初から準備が始まり、生徒たち、先生方、業者の方、保護者の皆様方の支えがあって実現したこの修学旅行は、生徒たちにとって一生忘れることのできない、かけがえのない思い出となったことでしょう。

紫西会報

十月五日、前日まで台風が心配されたのですが、どうにか台風の上を飛行機は通過して沖繩へ。この日は南部戦線

を巡り、戦争の悲惨さや平和の尊さをかみしめる一日となりました。二日目はクラス別行動。各クラスでマリンスポーツを体験したり、美ら海水族館を見学したりして沖繩の海や空の青さを満喫した一日でした。そして三日目は班別タクシー研修。生徒たちが自分で計画を立て仲間と協力して旅をするというもので、沖繩の魅力を知るといふ事とともに、友情を深める上で貴重な経験になったことでしょう。

三学年概況

三学年主任 中村聡明

最終日は首里城を見学して沖繩の文化や歴史にふれ、飛行機で戻ってくるという夢のような四日間でした。生徒たちの表情が本当に生き生きと楽しそうでした。私たち教員も良い修学旅行が出来たと実感することが出来ました。

しかし、修学旅行が終われば受験生への切り替えの時期です。三年0学期といいますが、まさしく二年生の後半から本格的な受験体制に入っていかなければ、全国の受験生に遅れをとってしまいます。本校の生徒は何事にも全力で取り組むことが出来る生徒だと思えます。最近の彼らの様子を見てると少しずつです

が取り組む姿勢が変わってきているように感じられます。自分の将来の進路を見据えて日々努力を続けていくことこそ、自分の目標に近づいていく唯一の道です。この頑張る生徒たちを前にして、我々二学年の教員団も一致団結して全力で生徒たちを支援していきたくと考えていますので、今後ともご支援ご協力よろしくお願い致します。

とうとう高校生活の集大成となる三年生になりました。この学年は、ACという制度が始まった最初の学年になります。そのACのもと、この三年間、生徒も教師もひたすら走り続けてきたように思われます。

走り続けてきた成果として、現時点では、部活動の結果が挙げられます。多くの部が県大会に出場しましたが、最たる例としては、硬式野球部の関東大会県予選第9位、バドミントン部の総体県予選第5位、軟式野球部の北関東大会県予選第3位、剣道部の総体

県予選優勝などがあります。もちろん運動部だけでなく文化部も活躍しました。今年度には茨城県で総文祭が開催され、多くの文化部の3年生が夏休みまで活動し続けました。

そして、いよいよ大学入試です。これまでやってきたことを顧みれば、自ずと結果はついてくるはずですが、この3年間が無駄ではなかったことを証明して、卒業を迎えて欲しいと切に望みます。

なお、今年度の十二月三十一日現在の進路決定者は次の通りです。

国公立大 (22)

〇一般推薦

- 高崎経済大 (3)
 - 山形大 (1)
 - 茨城県立医療大 (1)
 - 群馬大 (6)
 - 新潟大 (1)
 - 茨城大 (1)
 - 宇都宮大 (2)
 - 筑波大 (5)
- 〇AO入試**
- 群馬県立女子大 (1)
 - 長岡造形大 (1)

私立大 (28)

〇一般推薦

- 白鷲大 (1)
- 日本獣医生命科学大 (1)

〇AO入試

- 大妻女子大 (1)

〇指定校推薦

- 大妻女子大 (2)
 - 慶応大 (1)
 - 昭和女子大 (1)
 - 女子栄養大 (1)
 - 成蹊大 (1)
 - 中央大 (2)
 - 津田塾大 (1)
 - 東京家政大 (2)
 - 獨協大 (1)
 - 日本大 (1)
 - 文教大 (1)
 - 明治学院大 (3)
 - 立命館大 (1)
 - 昭和薬科大 (1)
 - 東京理科大 (1)
 - 国際医療福祉大 (1)
 - 東京薬科大 (1)
 - 武蔵野大 (1)
 - 自治医科大 (1)
 - 明治薬科大 (1)
- 専門学校 (3)**
- 群馬県立女子大 (1)
 - 長岡造形大 (1)
- 就職 (2)**



主な大学合格者数

(年度は入試年度です。)

(主な国立大学)

(主な私立大学)

大学名	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度
東北	1	0	2	0	1
山形	5	3	8	2	1
福島	8	3	9	1	4
茨城	23	26	24	19	38
筑波	8	5	7	12	13
宇都宮	10	19	16	14	19
群馬	5	2	3	2	2
埼玉	9	11	9	4	7
千葉	3	7	4	1	4
東京	0	0	0	0	0
一橋	0	0	0	0	0
東京工業	0	0	0	0	1
東京外語	1	0	0	1	0
横浜国立	1	3	0	0	0
その他	7	4	9	10	5
国立大計	81	83	91	66	95

大学名	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度
国際医療福祉	12	7	11	7	14
獨協	8	10	5	12	14
文教	21	9	18	18	12
青山学院	3	4	7	6	6
大妻女子	2	4	14	0	12
北里	4	2	1	4	6
慶應	1	2	1	2	4
国際基督教	1	0	0	0	0
駒沢	13	13	6	10	13
芝浦工業	9	15	15	10	27
上智	0	0	0	1	0
専修	13	12	12	11	12
中央	7	7	22	5	11
津田塾	1	2	2	3	2
東京女子	4	3	4	1	1
東京薬科	0	0	0	2	1
東京理科	5	6	9	12	19
東洋	30	33	29	24	40
日本	27	23	21	22	37
日本女子	2	0	5	4	2
法政	6	12	7	13	16
東京都市	5	8	3	2	7
明治	3	6	17	10	12
明治学院	11	10	19	7	8
立教	1	1	38	4	4
早稲田	0	2	1	4	4
その他	347	305	365	234	217
私立大計	536	496	632	427	501

(主な公立大学)

大学名	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度
高崎経済	13	8	4	0	5
県立医療	0	2	5	3	5
首都大東京	0	1	1	1	3
横浜市立	0	1	0	0	0
その他	21	14	23	18	6
公立大計	34	26	33	22	19

進路決定先人数

年度	国公立大	私立大	短期大学	専門学校	就職	未定・他	卒業者数
26	104	147	2	9	2	12	276
25	93	149	0	4	3	25	275
24	106	130	4	13	2	18	273
23	77	159	3	6	1	27	273
22	88	133	0	4	1	52	278
21	82	161	5	6	3	21	278

2015年度大学入試センター試験平均点

科目	国語	数学I A	数学II B	英語	世界史B	日本史B	地理B
本校平均	123.7	63.4	37	116.2	68.5	62.9	55.1
全国平均	116.4	62.7	42	118.5	67.9	63.8	60.6

科目	物理	化学	生物	生物基礎	地学基礎
本校平均	55.7	53.2	60.6	29.1	24.9
全国平均	62.3	59.9	49.1	27	28.6

※ 全国平均は中間発表のものです。

かけはしプロジェクト

紫 西 会 報

僕は外国での生活や文化を体験し、新しい自分を見つきたいと思い、この「カケハシプロジェクト」に参加しました

森山 優雅

かけはしプロジェクトに参加して

た。カナダに向けて出発する時は自分の英語を理解してもらえないか、英語をきちんと聞き取ることが出来るかなど不安な気持ちがありました。しかし、いざカナダに着いてみると、その不安はなくなりました。それは、カナダの人達が親身になって話を聞いてくれ、簡単な英語で話しかけてくれたからです。カナダの人達はみんな優しくかったです。カナダは多くの文化と人種が交ざり合っている国です。宗教や肌の色が違うなど色々な違いを持った人々が共存し食文化も多様です。カナダでは、ステーキ、ピザ、フィッシュアンドチップスなど色々な国の食文化を体験することが出来てとても楽しかったです。日本に帰って体重をはかると4キロも増えていたのでとても驚きました。

シアコム生徒の中にもいました。2人で夢について話したり、将来一緒に働こうと約束したことが強く思い出に残っています。国籍は違いますが、同じ夢を持つ友人が出来てとても嬉しかったです。約束を守るためにこれからもっと努力したいです。今回カナダに行ったことで、日本とカナダの違いを知り日本の良いところを再確認することができました。日本にもカナダにも良いところがたくさんあります。互いの国を理解し、尊重することで、さらに良い日本とカナダの関係を築けるのではないかと思います。今回の出会いを大切に、交流を続け日本とカナダの架け橋になりたいです。

かけはしプロジェクトに参加して

畠山 桃香

カナダは、私の知らないこととていばいい。幼い子には世界の全てが面白く輝いて映るという。自分が幼子になったような錯覚すら覚えた。レセプションの中で岡田総領事は「井の中の蛙大海を知らず」という諺を用いられていた。まさに言い得て妙である。言わなければ私達は蛙であり、まだ大海を知らない。知らないということはこれから知ることが出来るということだ。今までに何度か海外へ行ったことはあるが、その国の政治の現場などに出向くことはなかったため、強い衝撃を受けた。私はまだ何も知っていなかったのだ。

私のパートナーの名はマティソンという。マティソンやその家族に日本のことを尋ねられ、私がそれに答える。すると、私の話したことがそのまま彼女達の日本像へと取り込まれていくのだ。そこで気付く。私達がそれぞれの日本の代表であったことに。これは日本を発つ前から話されてきたことであるが、ただ、そういうものなのだと思えるのと、実感するのでは違う。話したことがそのまま一般論として捉えられる、それはつまり私に本当の日本を伝える使命があるということだ。適当なことと言つ訳にはいかない。何とかして伝えようと悪戦苦闘する中で、母国である日本

のことでさえ人に上手く伝えられないことに焦りを感じた。まずは、日本のことから知っていいことと思う。そしてその時には、胸を張って日本を語れるようにしたい。私はカナダに行って視野が広がった。私にとつてのカナダがそうであったように、誰かにとつての日本が、自分の世界を広げる鍵になればいい。日本を「鍵」たらしめるのは、勿論私たちだ。その役割を担えることに誇りを持って取り組んでいき、プロジェクト名の通り、日本とカナダのかけはしになりたい。

岡田総領事への感謝

吉川 吉美

カナダ滞在中、私たちにさまざまなお話をしていただき、質問に答えていただき、ありがとうございました。岡田総領事はカナダに行く前から私たちプロジェクトのメンバーの話題の中心でした。私たちの所属する下館一高出身の先輩であり、海外の第一線で活躍する日本人であったからです。そんな人に会えるなんて、と驚いたのを覚えています。カナダに到着した当日に総領事館に伺わせていただいたとき、慣れない長時間のフライトに疲れた私たちへ労いの言葉をかけてくださったことを覚えています。私たち一人ひとりの夢を聞いてくださり、真摯に向き合っていたいていことを感じました。外交官になった経緯や体験、高校時代のお話を聞かせていただきました。私たちの間に外交官の夢を持つ人は居ませんでしたが、みんな興味津々に聞いていました。それまでは名前だけで、中身を知らなかった「総領事」という仕事がテレビの中だけのものや遠い世界の話しでなく感じられました。メンバーの中には将来の夢が決まっていない人がいますが、私もその一人でしたが、日本だけでなく海外でも活躍することに魅力を感じました。英語をもっと得意教科にした、そしてもっとたくさんの人と話して自分の世界を広げたいという思いが強まりました。今回は貴重な体験をさせて

いただき、ありがとうございました。今回の経験を活かし、岡田総領事のように海外

でも活躍できるような人材になりたいと強く思いました。



平成二十六年年度
職員異動

- 一 退職者
 - 校長 原 篤範
 - 講師(国語) 並木知美
 - 非常勤講師(保体) 鈴木善雄
- 二 転出者
 - 教頭 瀬端正男 (竹園高へ)
 - 教諭(物理) 萩原 晃 (明野高へ)
 - 教諭(国語) 佐藤伸彦 (石下紫峰高へ)
 - 教諭(国語) 助川裕子 (笠間高へ)
 - 教諭(教諭) 比氣勝俊 (三和高へ)
 - 教諭(保体) 白岩淳一 (水戸工へ)
 - 教諭(英語) 浅野玲子 (下妻一高へ)
 - 講師(美術) 館野 弘 (三和高へ)
 - 講師(数学) 渡邊理男 (境高へ)
 - 係長 深谷 充 (筑波高へ)



- 三 転入者
 - 校長 石川 弘 (下妻一高より)
 - 教頭 生駒忠夫 (結城二高より)
 - 教諭 福井 勲 (竹園高より)
 - 教諭 薄井裕美 (石岡一高より)
 - 教諭 小島 明 (鬼怒商より)
 - 教諭 田崎聡子 (岩瀬高より)
 - 教諭 久保稜子 (三和高より)
 - 教諭 山田貴大 (結城二高より)
 - 教諭 安部友樹 (藤江真理子)
 - 教諭 藤江真理子 (総和高より)
 - 講師 小林剛志
 - 非常勤講師 福田良一
 - 非常勤講師 関本啓志
 - 主任 小園江秀行 (水戸生涯学習センターより)



下館紫西同窓会総会が9月20日(土)に行われました。HOTEL NEW TSUTAYAにて同窓会と講演会、懇親会が行われました。懇親会の前には、本校卒の株式会社ゴルフパートナーの社長である石田純哉様から講演をたまりました。演題は、「私とゴルフとの出会い」でした。懇親会は総勢120名以上の同窓生で行いました。和やかな雰囲気の中で執り行われました。

次に記載してあるのは、同窓会総会で決定した役員人事です。ご覧下さい。

平成二十六年年度下館紫西同窓会総会



- 会長 林 廣明
- 名誉会長 石川 弘
- 副会長 稲見庄一
- 信山克雄
- 谷島英一
- 吉田公哉
- 関 正樹
- 荒井嗣雄
- 石上信男
- 中村一三
- 津田むつみ